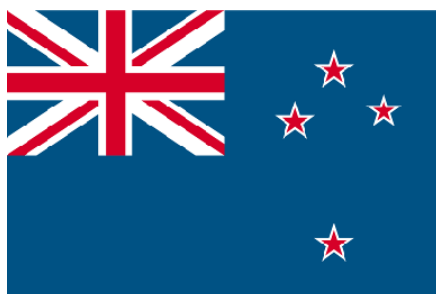


Support Our Kids

第2回 海外ホームステイプログラム in NZ

実施レポート



2012年8月

Support Our Kids実行委員会

1. 概要

■ホームステイ概要

日時：2012年8月8日～8月22日
※7日及び8日午前中に東京にて事前研修

〈渡航〉

8/8 NZ90 成田空港 19:00発

8/22 NZ99 成田空港 16:50着

場所：オークランド（7名） / ダーガビル（7名）

参加者 児童：14人 引率：2人

内容：・ホームステイ
・短期留学
・異文化交流
・アクティビティ など

オークランド



●マウント・アルバート グラマースクール ●ダーガビルハイスクール

ダーガビル



■企画協力

ニュージーランド大使館

アゼリーグループ、アルパインツアーサービス株式会社、

公益財団法人ラボ国際交流センター、在オークランド総領事館、

ニュージーランド政府観光局、DARGAVILL HIGHSCHOOL、

MOUNT ALBERT GRAMMAR SCHOOL、NZEDU、nz-navi.com

※敬称略・順不同

2. 事前研修

■事前研修

日時：8月7日 14:30～20:30 ※夕食 18:15～19:00
8月8日 10:00～12:00

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

内容：子どもたちが海外でホームステイをするための準備。ホームステイ国について調べてきた宿題の発表やお互いの被災状況も共有しました。
また、自己目標、グループ目標を決め、出発に向けて意識を高めました。

日程	時間		内容
8月7日	12:00		東京駅集合 ※研修場所に移動
	13:00 ~		チェックイン・施設案内 休憩 名札作成 ※研修に付ける名札を各自作成
	14:30 ~ 14:40	研修1	事務局挨拶（引率者紹介含む）
	14:40 ~ 15:00		自己紹介&アイスブレイク
	15:00 ~ 15:20		ホームステイプログラムの内容
	15:20 ~ 15:30		(休憩)
	15:30 ~ 16:15		ホスト国について(宿題発表)
	16:15 ~ 16:30		ニュージーランドについて
	16:30 ~ 16:40		(休憩)
	16:40 ~ 17:00	ホームステイの心得	
	17:00 ~ 18:00	ケーススタディ～こんなときどうする？～	
	18:15 ~ 19:00	食事	
	19:15 ~ 19:30	研修2	保険について
	19:30 ~ 19:45		経験者体験談・体験者への質問
19:45 ~ 20:00	質疑応答(全体)		
20:00 ~ 20:10	個人の目標設定		
20:10 ~ 20:25	グループの目標設定		
20:25 ~ 20:30	まとめ・明日の予定確認・連絡事項		
20:30 ~	入浴	入浴 就寝	
8月8日	7:00 ~		起床
	8:00 ~ 9:00		朝食 チェックアウト
	10:00 ~ 10:40	研修3	自己紹介アルバム発表
	10:40 ~ 10:50		休憩
	10:50 ~ 11:20		グループ目標発表
	11:20 ~ 12:00		出発前個別面談
12:15 ~ 13:00	昼食 電車で成田空港へ出発 ※NZ90 19:00発		



事務局長 秋澤志篤



公益財団法人ラボ国際交流センター
平野昌和氏



ニュージーランド政府観光局
猪膝 直樹氏



アルパインツアーサービス株式会社
芹澤健一氏

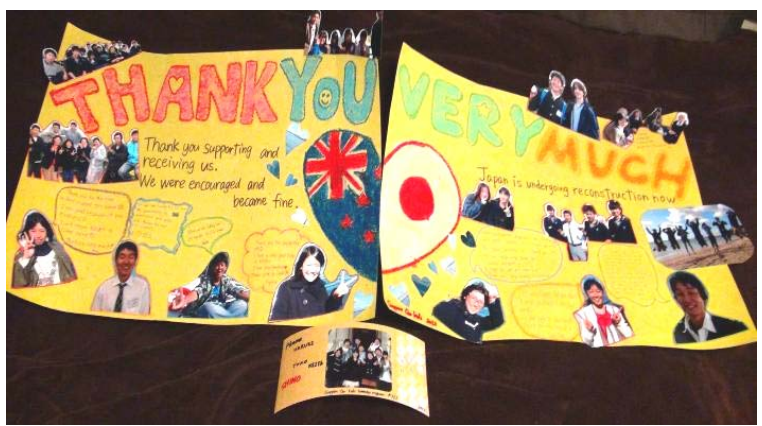


駐日ニュージーランド大使館
マーク・シンクレア大使

3. スケジュール(オークランド)

Aug 2012						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7 事前研修 in 東京	8 AM: 事前研修 PM: 成田空港 出発	9 オークランド着 市内観光 ホストファミリーと 対面 ホームステイ 開始	10 観光 (ホエル ウォッチング)	11 ホストファミリーと 過ごす
12 ホストファミリーと 過ごす	13 AM: オリエンテーション (学校) PM: 学校	14 学校 英語レッスン	15 観光 (ランギトト島)	16 学校 英語レッスン	17 学校 英語レッスン	18 ホストファミリーと 過ごす
19 ホストファミリーと 過ごす	20 観光 (マオリ文化 見学)	21 AM: お別れパーティ PM: 領事館訪問 ショッピング	22 オークランド発 成田着	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

4. 学校の様子(オークランド)



5. アクティビティの様子(オークランド)



6. スケジュール(ダーガビル)

Aug 2012						
Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7 事前研修 in 東京	8 AM: 事前研修 PM: 成田空港 出発	9 ダーガビル着 ホストファミリーと 対面 ホームステイ開始	10 マオリ式 オリエンテーション (学校) クッキングセッション とアフタヌーンティ	11 ホストファミリー と過ごす
12 ホストファミリー と過ごす	13 AM: 学校 英語レッスン PM: ファーム訪問	14 AM: 学校 英語レッスン PM: 地元の学生 と交流	15 AM: 学校 英語レッスン PM: 地元の学生 と交流	16 AM: 学校 英語レッスン PM: ウォール クライミング	17 AM: 学校 英語レッスン PM: カヤック お別れ パーティー	18 ホストファミリー と過ごす
19 フリータイム ホストファミリー と過ごす	20 オークランドへ 移動 観光	21 AM: 市内観光 PM: 領事館訪問 ショッピング	22 オークランド発 成田着	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7. 学校の様子(ダーガビル)



8. アクティビティの様子(ダーガビル)



9. 帰国・解散式

■解散式 成田空港

日時：8月22日 17:30~18:15

場所：成田空港ラウンジ

Terminal 1, South Wing 1st Floor: room:S-10)

内容：ホームステイプログラムの振り返り。

海外で学んできたこと、感じたこと、今後に活かしたいこと、
支援して下さった方に伝えたいこと等について発表しました。



10. 参加者の感想

■S.Iさん（宮城県）

今、私はホームステイ前と変わらない生活を送っています。しかし、私の価値観や人生観は大きく変わりました。「自分の将来の夢を簡単に諦めていいのか、日本に留まっていていいのか。世界は本当に広い！だから、今私がやるべきことは何か、私が歩む道はどこか。今を大切にしよう。今を未来につなげよう。そして、自分を支えてくれる全ての方々を大切にしよう。常に感謝し、自分もみんなを支えよう。」これが、私の今の正直な気持ちです。このような気持ちになれたのは、このホームステイプログラムを支援していただいた皆様のお陰です。17年生きてきて、初めてこんなに深く感謝したかもしれません。このプログラムが私を変えてくれました。支援者の皆様の熱い想いが本当に伝わってきました。私の将来の夢、「日本と世界をつなぐ架け橋になる」というのは、決意に変わりました。絶対になります。

■A.Nさん（福島県）

ホストファミリーとお互いに地震の支援のことについてお礼を言い合いました。クライスト「チャーチを助けてくれてありがとう。お互い、頑張ろう。」と言われたとき、とれも嬉しくて泣きそうになりました。文化・言葉が違っても、人を思う気持ちに変わりはない。人はみんな助け合っているんだと思いました。

今回、私がニュージーランドへ行って、新しい気持ちで帰って来れたのは、支援者のみなさんのおかげです。ここに書ききれないほどの体験・気持ち・知識・思いがあります。これは、これからも絶対に忘れません。頑張って！と言ってくれる人がいること、お互いに頑張ろうと言ってくれる人がいること。必ずどこかで助け合い、支え合い、つながっていること。国内に留まらず、ニュージーランドの人々もそう思ってくれていることを、一人でも多くの人に伝えたいです。

本当にありがとうございました。みなさんに頂いたこの2週間の時間を、これから夢に向かう力の源にして頑張っていきます。

■M.Aさん（宮城県）

ホームステイプログラムでは、人の温かさを一番強く感じました。ホストファミリーは、本当の家族のようにしてくれて、本当に幸せでした。私は、してもらって嬉しかったことを、これから自分も周りの人にしていけるようになりたいと思いました。

また、NZでは、国の壁がないように感じました。学校では、日本人もKiwiも他の留学生も、みんな一緒になって楽しみ、分け隔てなく接してくれました。それは日本との違いだと思いました。だから、私も日本で海外の方がいても特別視して身構えるのではなく、話しかけたりできるようにしたいです。また、日本の学校も、もっと留学生を受け入れるべきだと思います。自分自身ももっと日本について知って、日本の魅力を世界に発信していかなければいけないと思います。

このプログラムを通して、改めて将来は海外とつながれる仕事をしたいと思いました。世界と日本をつなげ、社会貢献できる職に就きたいです。そして、私が働くようになったら、私も寄附をして、より多くの子どもたちに夢を持って海外に行く機会を与えたいです。また、私が育った宮城の復興、日本の活性化にも貢献したいです。

支援者の皆さんが、私にこのような機会を与えてくださったことを後悔させません。私が大人になったら、私の次の世代にもつなげていき、皆さんに恩返しをしたいです。私が今生きていることは当たり前ではなく、色々な人に支えられている。そのことをしっかりと心にとめ、精一杯生きたいです。本当にありがとうございました。東北は必ず復興します！